

はじめに

平成7年1月の「阪神・淡路大震災」や平成23年3月の「東日本大震災」など、多くの尊い生命を奪った大規模な地震をはじめ、近年では「大阪北部地震」や「令和6年能登半島地震」が発生しており、近い将来、東海・東南海・南海地震や、これらが連動した南海トラフにおける巨大地震が発生するといわれています。

さらに、地震だけでなく、近年、各地で台風や豪雨など、様々な自然災害が発生し、尊い生命や財産が失われており、今まで以上に災害に対する備えが必要となっています。

大阪市では、いつ起こるか分からない地震や豪雨など多様化する災害に備え、災害から市民の皆様の尊い生命、身体及び財産を守るため、「大阪市地域防災計画」及び「大阪市防災・減災条例」に基づき様々な対策を行い、災害に強い安全なまちづくりに努めてまいります。

これまでの震災などから得た防災・減災についての教訓を生かし、災害が発生した場合に「自分の命は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えをもって、公的機関がかけつけるまでの間、住民同士で助け合い、救出・救護、初期消火することが被害を最小限にするためには、たいへん重要です。

このことから、地域の皆様におかれましては、地域防災リーダーの皆様が中心となるなどして、自主防災組織を結成し、ワークショップや防災講演会の開催、訓練の実施などの防災活動を行い、地域での防災力の向上のためにご活躍いただいております。

市民の皆様一人ひとりが日常から防災・減災に関する正しい知識の習得や、ご家庭での備蓄などを行っていただくとともに、お住まいの地域の自主防災組織が行う訓練等の防災活動に積極的に参加していただくことが必要です。

また、自主防災組織が中心となって、これら訓練等の防災活動を踏まえ、組織体制や地域の実情と災害特性に応じた避難方法、安否確認方法などを地域ごとの防災計画として定めておくことが必要です。

本市としても、市民の皆様や事業者、自主防災組織が行う防災活動に対し支援や協力を行うなど、様々な防災・減災の取組みを行ってまいります。

自然災害をくい止めることはできませんが、災害に対する日頃の備えや訓練等を積み重ねていくことで被害を最小限にとどめることができます。

様々な機会をとおしてこの冊子を活用していただき、防災の手引きとして、災害からご家庭や地域を守る一助にいただければ幸いです。

目次

第1章

地震・津波に備える

地震のメカニズム（しくみ）を知る……………	1
大阪市に想定される被害……………	2
地震が起きたら 自分や家族の身を守るために …	3
津波から身を守るために……………	7

第2章

風水害に備える

大阪市は水害に弱い地形……………	9
大きな被害をもたらす台風や集中豪雨……………	9
想定される水害……………	10
避難フロー……………	11
避難情報を知っていますか？ ……	12
大阪市から避難情報を発令します……………	12
マイタイムライン……………	13
風水害から身を守るために……………	15
特別警報……………	17

第3章

地震・風水害に対する日ごろの備え

家族で防災会議を開こう……………	18
非常持ち出し品……………	19
家庭に備えておくもの……………	19
あなたの家の安全対策……………	20
あなたの家の耐震性能はだいじょうぶですか？…	20

お部屋の「安全空間」は作っていますか？ ……	21
もしものときに備えて「知る」「学ぶ」……………	23

第4章

地域での防災活動に参加しましょう

自助・共助が命を救う！……………	25
地域の防災活動に参加しよう！……………	26
自主防災組織の取組みが大切です……………	26
要配慮者への心配り……………	27
災害時の支援について事前に考えておきましょう ……	28
災害が起こったらこのように行動しましょう ……	29
あなたの支援プラン……………	30

第5章

避難生活のために

避難所生活の心得……………	31
被災後に……………	33

第6章

いざという時のために

火事が起きたり救急車が必要になったら……………	34
応急手当が必要になったら……………	35
弾道ミサイルから身体・生命を守るために ……	37
わが家の防災マップをつくろう……………	39
緊急連絡カード……………	巻末
大阪防災アプリ ……	巻末
非常時などの連絡先……………	巻末